

猫になりたい

東本願寺ロサンゼルス別院輪番

河和田 賢淳

今日の朝もうちの前の電灯の上に鷹が止まって休んでいます。お寺では猫が毎日のように倉庫の屋根の上でのんびり気持ち良さそうに昼寝をしています。

街ではアイスへのプロテストが行われています。

動物にはテレトリーはあるかもしれませんが、人間のような境界線や国境はないようで、いつでも好きなように移動できます。昔人間もそうだったと思います。人間が土地の所有を始めてから所有権や境界線を作つてから色々な問題が起こるのです。北米やハワイの

先住民には土地を人間が所有するという思いはなく、その土地が自分たちのいのちを育んでくれる場と考えたい様です。だから大地や自然が多くの恵みを人に与へ、それに感謝をしながら生活していたのです。そこには土地の所有権に関する問題はなかったのです。大地は人間生活、いのちの基盤です。釈尊がお悟りになられた時も右指で大地に触れていたと言われています。

移民や人種差別の問題は今に始まった事ではありません。

この国の豊かな生活はいつも外国からの労働力

に支えられていることを忘れてはならないのです。

そこにはいつも先に来た豊かなものが新参者を使い、生産をあげ利益を上げる構造があります。資本主義はその様な一面があるのです。この移民の国は様々な人種の人が作っている国なので人種問題を乗り越えなければならぬのです。

アメリカは希望の国でもあります。伝統的な国から見ればアメリカは自由な国であります。

そして司馬氏はアメリカが無ければこの世界はもつと息の詰まる世界になつていくだろうと司馬遼太郎という作家は言っていました。

アメリカは自由主義、民主主義、資本主義の国。民主主義、資本主義は人間に自由と個人というものを与えたということです。

これらは土地を持たないオランダからはじま

たと言われます。オランダは湿地帯が多い国でした。土を積み上げ運

河を作り、石を他国から運び台地を作つて国土としたのです。オランダは商売で国を作った国であり、資本主義の始まりの国と言われています。商売では数字、値段が物事を決めてゆきます。また商売主は一人一人独立しているのです。そこでビジネスを大きく行うために投資し合うシステムが生まれ、資本主義となつたのです。そしてそのビジネスや国を動かす時、多数決でその国を動かす様になりました。そこに民主主義が生まれたというのです。

しかしこの民主主義や資本主義で国や社会の政策を実行する時、一つ前提となるものは誠実な心、正直さというのです。商売は数字の世界、それが事実なのです。事実に忠実に生きる事が、本当の民主主義と資本主

行事予定

二月

一日 二月祥月法要
八日 日曜礼拝
十五日 日曜家族礼拝
二十二日 日曜礼拝

三月

一日 三月祥月法要
二日 ゴルフ大会
八日 日曜礼拝
十五日 春季彼岸法要・
二十二日 春季セミナー
二十九日 日曜礼拝

当別院では、このたび新しくウクレレグループ「Ohana Strings (ダルマ・ストリングス)」を始めることになりました。

どなたでもお気軽にご参加いただけます。

活動日は毎月第二・第四木曜日、午後三時から、会議室にて行います。

ウクレレを弾いたり、歌ったりしながら、楽しいひとときを一緒に過ごしませんか。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

義を行う事なのです。

そこで人間は数字にこだわる様になります。しかし数字が全真実を表すことはないのです。だからそこには真実を見る目、心構えが必要なのです。それを怠ると経済混乱が起こりそれに伴って政治の混乱も起こります。またその逆もあります。

民主主義、資本主義は人間が作り出したシステムであり完全なものではありません。全てそこ託すことはできないのです。ですから真実、事実に対し正直な心を忘れずに、真実を常に見ようとする事が大事なのでしょう。

その真実を見る目とは仏法を通して世界を見る目なのです。仏法、智慧の光に照らされた私を見れば、自我よって閉じ込められた小さく、愚かな私が照らし出されます。そして全ての問題は私ども持っている自我や自

尊心（プライド）から

始まっている事に気付かされます。俺が俺がから差別や争いが起こるので。自己、人種、社会や国に対する優越意識はこの俺が俺が精神が始まりです。差別や争いを最少に留めるにはまず自分の本質、人間の本質を知ることが大事だと知らされます。仏道とは自分を知ること、自分を知ることが世界を、真実を知ることだと教えられます。お念仏とは真実からの呼びかけ、大きな世界に生まれよとの願ひであります。また仏法、真実の教えに行けという声なのです。



最近の行事

年末年始の行事

二〇二五年の締めくく

りとして、十二月三十一日（日）に恒例の大掃除を行いました。多くの献身的な御門徒の皆さまのご協力により、二〇二六年を気持ちよく迎える準備ができました。お手伝いいただいた皆さまには、台所、ソーシャルホール、各教室、本堂、玄関、そして境内まで、隅々まで心を込めて清掃いただき、多くのボランティアの皆さまのお力添えのおかげで、お寺を美しく整えることができました。お手伝いいただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。

十二月二十九日（月）

には、餅つきを行いました。御門徒の皆さんやご家族、ご友人が集まり、元旦の修正会でお供えするお餅や、ご家庭にお持

ち帰りいただくお餅と一緒に作りました。餅つきを企画してくださった山城家の皆さまありがとうございました。

十二月三十一日（水）

には、除夜会が勤まりました。法要の後には、皆さまとご一緒に年越しそばをいただきました。法話では、過ぎゆく年を振り返り、そして新年への願いが語られました。

また、一月一日には、

新年を迎える修正会をお勤めしました。年末年始の特別な行事にご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。二〇二六年も、法要や行事を通して皆様に会いきことを楽しみにしております。



永代経法要・ 総会・新年会

二〇二六年の永代経法

要には、多くのご家族やご友人が参列し、お亡くなりになった御門徒の皆さまを偲びました。法要では、伊東憲昭師より御法話をいただきました。

また、同日に総会と新年会も開催されました。

会場は、リトルトーキョータワーズのジム・E下園ホールでした。参加者は、ニジャマーケットによる味噌漬け鮭と照り焼きチキンの美味しい弁当を楽しみました。また、オープンバーも設置され、理事会やご門徒の皆さんが持ち寄った美味しいデザートも振る舞われました。新年会は、理事長のロン・佐藤さんと河和田賢淳輪番のご挨拶から始まりました。その後、総会が開かれ、長峯眞如師による別院の活動報告、伊東信さんによ

る財務報告、デイヴィッド・池田さんによる二〇二六年度の理事会役員選出が行われました。理事長には新しくジェイソン・ウォンさんが就任され、副理事長にはケリー・小松さん、会計責任者にはゲイリー・金本さん、書記にはグレイス・山城さん、会計にはアイリーン・太田さん、イレイン・バーボッドさん、伊東信さん、デイヴィッド・池田さんが就任されました。また、グレッツチエン・笠井さんが新たに理事会メンバーとして加わりました。

その後、河和田輪番ならびに伊東師より、長年にわたり理事長をお務めいただいたロン・佐藤さんに、感謝の意を込めた贈呈が行われました。続いて、お二人にロン・佐藤さんも加わり、ルンビニ保育園にて四十周年を迎えられたレスリー・二町先生、ならびに別院の

中心的存在として三十年にわたりご尽力されているスーザン・柏原さんをお祝いする贈呈が行われました。

また、昨年お寺の活動を支えてくださったボランティアの皆さんへ感謝の贈与が行われました。

その後、河和田輪番（ギター）、後藤師（エレキギター）、伊東師と長峯師（ボーカル）、そしてジョニー・河和田さん、ジョン・江崎さん、ダグ・相原さん（ウクレレ）による演奏が披露され、アンコールを含む全六曲が演奏されました。会場の皆さまも、親しみのある曲に合わせて一緒に歌い、和やかなひとときを過ごされました。

伊東見華さんが作成した、この一年の出来事を振り返り、サード・ストリートにおける当別院五十周年を記念するスライドショーが上映されました。また、プログラムの中で、抽選によるド

アライズのプレゼントも行われ、会場は大いに盛り上がりました。

司会を務めてくださった伊東信さん、新年会を運営してくださった理事の皆さまに心より感謝申し上げます。

また、八十歳以上の会員様への贈り物を企画してくださったイレイン・原田さん、シャリリン・ジャンさん、各座席の花飾りを用意して下さったリサ・島本さん、アボカドを提供して下さった村田家の皆さんにも御礼申し上げます。また、ドアプライズを提供して下さったジャネット・伊東さん、アイリーン・太田さん、グレイス・山城さん、ペニー・村田さん、ジニー・村田さん、デイヴィッド・キャシー・池田さん、イレイン・原田さん、ロン・ベツキー・佐藤さん、ジェイソン・レスリー・ウォンさん、トリッシュ・ニコルソンさん、ス

ーザン・柏原さん、伊東見華さんに感謝申し上げます。また、デザートをご提供いただいた、アイリーン・太田さん、クレイグ・ハルコ・原田さん、伊東見華さん、スーザン・柏原さん、イレイン・原田さん、レスリー・二町さん、ミヨコ・岡本さんにも心より御礼申し上げます。

さらに、ルンビニ幼稚園のスタッフであるレスリー先生、ジャック先生、ダニー先生をはじめ、会場の設営や片付けを手伝って下さった多くのの方々にも深く感謝いたします。皆さんの温かいご協力のおかげで、とても楽しい新年会となりました。



同朋のお悔み

高橋よしひこ様
十二月十六日 御命終
行年七十八歳

川本節子様
十二月十九日 御命終
行年八十三歳

長井咲様
一月五日 御命終
行年九十九歳

岸まさる様
一月十八日 御命終
行年百六歳

土井ジャニス様
一月二十五日 御命終
行年七十五歳

謹んで哀悼の意を表します。



別院より

新理事長よりご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆さまにとって、二〇二六年が良いスタートとなっていることを願っております。このたび、東本願寺別院の新理事長を拝命いたしましたので、ここにご挨拶申し上げます。私の名前はジェイソン・ウオンと申します。これまでの三年間、理事会において会計および副理事長を務めてまいりました。新たに副理事長に就任されたケリー・小松さん、そして理事会メンバーの皆さまと共に活動できるところを、大変うれしく思っております。私は一九九五年にロサンゼルスへ移り、アクティビジョンおよびE.A.にて、ビデオゲーム業界で二十年間、ゲームテストおよびソフトウェア開発に携わってまいりました。

た。その後、同業界を引退いたしました。

妻のレスリー、そして娘のエミコと共に、二〇一九年より別院の活動に積極的に参加するようになりました。幼少期には、コロラド州デンバーにあるトライステート仏教寺院に時折通っております。別院での最初のボランティア活動は、伊東前輪番が「お盆準備を手伝いたい人は、駐車場にいるステイブさんに声をかけてください」と呼びかけられたことがきっかけでした。また、コロナ禍をきっかけに日曜礼拝の配信のお手伝いを始め、現在もゲイリー・金本さん、ブラッド・佐々木さんの献身的な協力のもと、その活動は続いております。

理事長として、財政面・社会面ともに困難な時代にある中で、寺院とサンガが歩みを進めていくための一助となれるよう

努めてまいりたいと存じます。私たち家族は、このサンガの一員であることに深く感謝しており、皆さまと共に仏法を聴聞し、分かち合えることを心より楽しみにしております。

合掌

ジェイソン・ウオン

お知らせ

春季彼岸会

本年の春季彼岸会法要は、三月十五日（日）午前十時より厳修いたします。また、同日午後一時より春季セミナーを開催いたします。

彼岸会法要および春季セミナーのご講師は、羽田信生師（博士）です。さらに羽田師には、春季セミナーに加え、『教行信証』―親鸞聖人の主著―をテーマとした全五回の連続講座をご担当いただきます。

本講座はZoomによる

オンライン開催のみとなり、各回参加費十ドルを申し受けます。

日時は、三月十八日から四月十五日までの毎週水曜日、午後七時から八時三十分までです。

お申し込みは、別紙フライヤーのQRコードよりお願いいたします。

（なお、三月十五日の春季セミナーは参加費無料・一般公開となっております、事前申し込みは不要です。）

ぜひご家族やご友人をお誘い合わせのうえご参加ください。皆さまの越しを心よりお待ちしております。

仏教連合会花祭り

ロサンゼルス仏教連合会の毎年恒例の花祭りが、二〇二六年四月五日（日）午後一時より本願寺ロサンゼルス別院にて勤修されます。花祭りは、釈迦牟尼仏の誕生を記念する法要です。講師として、元洗心仏教会の駐在開教使である小谷正雄師をお迎えし、「過去から未来へ―ロサンゼルスにおける日系アメリカ寺院の進化する役割―」というテーマで講演いただきます。皆様のご参拝お待ちしております。

Hanamatsuri
FAMILY SERVICE
花祭り家族礼拝
Sunday, April 19 2026 | 10 am
2026年4月19日（日）午前10時

